国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和６年５月１６日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所

# 未来の防災の専門家・リーダーのみなさんが ＤＸや災害対策用機械を体験見学

## ～中部技術事務所の「旬な現場」を開催～

１　概要

中部技術事務所では、インフラ分野へのデジタル技術の導入（ＤＸ）や災害時の復旧支援といった国土交通省の取り組みを広く知っていただくため、見学・体験を開催しています。

この度、企業や地域において今後、災害対策や被災者支援のリーダーとなられる方々が専門家養成講座の履修カリキュラムのひとつとして見学・体験に来られます。

２　内容等

日　　時：令和６年５月２１日（火）１３時３０分～１６時００分
場　　所：中部インフラＤＸセンター及び中部技術事務所構内
（名古屋市東区大幸南１－１－１５）
内　　容：中部インフラＤＸセンター内のデジタル機器の見学・体験
中部技術事務所が保有する災害対策用機械の見学・体験
参 加 者：愛知工業大学地域防災研究センター社会人防災マイスター養成講座履修生
報道取材：見学・体験の全般において取材が可能です。

３　資　　料：添付資料

４　配 布 先：中部地方整備局　記者クラブ

５　問合せ先：国土交通省　中部地方整備局　中部技術事務所
副所長　大坪　晋作　TEL:052-723-5701（代表）
技術情報管理官　松本　博樹　FAX:052-723-5707

６　そ の 他：災害が発生または防災体制時には訓練を中止します。
取材をご希望の方は事前に上記５までご連絡願います。

# 技術01　災害対策用機械を見てみよう

## 中部技術事務所の災害対策用機械

中部技術事務所では災害復旧を支援するさまざまな機械を保有しています。

国土交通省の災害支援の取り組みについて、
実際に災害対策用機械の動く様子を間近で
見学することにより知っていただくことができます。

【排水ポンプ車】

【対策本部車】

【照明車】

【無人化施工バックホウ】

**【排水ポンプ車】**
台風や豪雨などによる浸水被害を最小限に防ぐため排水作業を行う車両です。
**【対策本部車】**
災害現場の最前線のおいて、情報収集や応急対策の検討、現場指揮を行う現地対策本部となる車両です。
**【待機支援車】**
災害現場で活動する作業員の休憩場所として使用する車両です。
**【照明車】**
夜間や悪天候時に安全に作業できるよう現場を明るく照らすことができる車両です。
**【衛星通信車】**
日本国内ならどこからでも衛星を通じて画像や音声を伝送することができます。
**【無人化施工バックホウ】**
大雨や地震による土砂災害現場で、遠隔操作により復旧作業を行うことができます。

令和元年台風１９号（東日本台風）

令和6年能登半島地震

■ 屋外での見学となります。
■ 見学は土日祝日を除く開庁日とします。
■ 災害対応等により見学をお断りすることもあります。
■ 学生や防災活動に取り組む団体の方々を対象としています（10名以上20名まで）
■ 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策に配慮の上、見学されるようお願いします。
■ 申込みは中部技術事務所HPをご覧下さい。見学希望日の1ヶ月前までとします。
■ 今回の受付は3～5月に見学希望の方が対象です。

【問合せ先】中部技術事務所 総務課
電話：052-723-5701　E-mail：cbr-kensyu3@mlit.go.jp
【アクセス】地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」下車
１番出口より徒歩約１分

【Ｘ】

# 技術02

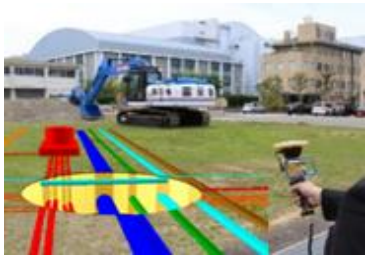
# インフラ分野のＤＸ

ちゅうぶぎじゅつじむしょ　ちゅうぶ　でぃーえっくす
中部技術事務所　中部インフラＤＸセンター

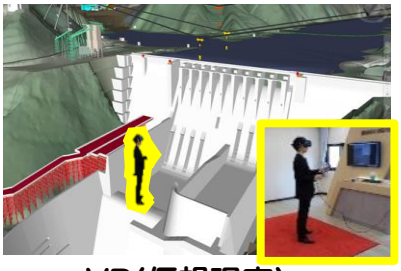
## インフラ分野のDXの最新機器を見て･触って･体験できる施設

　中部地方のＤＸ推進拠点として、バーチャル体験が可能な環境とデジタル機器を整備し、インフラ分野で活用できる人材育成に積極的に取り組んでいます。
　最新のＤＸツールを体験しにぜひお越しください！

**【紹介技術の一例】**



AR（拡張現実）



VR（仮想現実）

建設機械の遠隔操作技術

【遠隔臨場】

➢ 動画撮影用カメラ（ウェアラブルカメラ等）を使い、遠隔臨場を想定した体験ができます。

【AR（拡張現実）】

➢ AR機器とスマートフォンを使い、3Dモデルを重ね合わせた出来上がりイメージを確認できる体験ができます。

【VR（仮想現実）】

➢ VRゴーグルを装着し、3次元設計データで作られた臨場感あふれるVR映像の現場を疑似体験できます。

【3次元設計技術】

➢ 3次元設計データに触れる体験や活用事例の紹介をしています。

【建設機械（バックホウ）の遠隔操作技術】

➢ 災害現場などにおいて安全な場所から遠隔で建設機械を操作する技術を紹介をしています。

※建設機械の遠隔操作技術の実演･体験は木曜日のみです。（体制次第では実演できない時もあります）

■ 見学は毎週火～金曜日：10時～16時迄（土日祝日を除く）
　※中部インフラDXセンターはGW，夏季休暇、年末年始等休館の場合もありますので、事前にご確認をお願いします。
■ 災害対応等により見学をお断りすることがあります。
■ 申し込み人数は8名程度/回まで
　※8名程度以上となる場合は別途ご相談をお願いします。
■ 申し込みは見学希望日の2週間前までにご相談をお願いします。
■ 今回の受付は5月に見学希望の方が対象です。

【問合せ先】中部技術事務所　技術活用・人材育成課
電話：052-723-5704　E-mail：cbr-dxk-cg@mlit.go.jp
【アクセス】地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」下車
１番出口より徒歩約１分

【Ｘ】